



駿河台大学 同窓会

SURUGADAI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

駿河台大学同窓会報

2019.4.1 VOL. 36

発行：駿河台大学同窓会事務局
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698
☎042-972-1101
dousou@surugadai.ac.jp

駿河台大学同窓会ホームページ <http://www.surugadai.ac.jp/dousou/index.html>

会長就任挨拶

昨年5月の総会でご承認頂き、駿河台大学同窓会第4代会長を拝命いたしました新井克明と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私たちの母校駿河台大学は法学部の単科大学として設立されてから今年で33年を迎え、5学部・2研究科を擁する文科系の総合大学として発展を続けています。私達同窓会も、母校の発展とともに2018年度の卒業生をもって26,000名を超えるまでの大きな組織となりました。この責任の大きさに、身の引き締まる思いです。

現在の同窓会は駿河台大学を出身とする仲間との交流・親睦団体という性格から、母校の発展とともに歩みを進める支援団体という性格も持つようになりました。活動・事業内容も多岐に亘るようになったことから、昨年の総会で会則改正のご承認を頂き、副会長職を3名としたうえで役員数を増強し、各支部とも連携しながら事業運営を行っています。今後毎年2回の大型行事である5月の総会と10月のホームカミングデー、そして支部会の活動を通じて皆様のご意見を伺いながら、皆様の負担に応える同窓会運営を行ってまいります。

会長 新井 克明

2000年 文化情報学部卒業

2002年 大学院文化情報学研究科修了

株式会社サンエイホーム 専務取締役



駿河台大学を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、母校の発展なくしては同窓会の発展もありませんし、私達同窓会の活性化あるいは発展なくしては、母校の発展もありません。同じ仲間として皆様が益々懇親を深められ、日々の仕事や暮らしのなかで活力ある団体となりますよう、そして母校の発展に役立つ活動を進められるよう、しっかりと会長職を全うする覚悟です。若輩者ではございますが、引き続き皆様のご指導そしてご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

2019年度 同窓会総会・懇親会「都内開催」のご案内

新年度の同窓会総会・懇親会は、「都内」で開催します。

総会では、前年度の実施事業・決算を報告し、2019年度の事業計画・予算案等を審議します。そして、総会終了後には懇親会を開催します。会費無料です。食事と飲み物を用意してお待ちしていますので、まだ参加したことがない方も、お友だちを誘って、懐かしい仲間たちとの再会を楽しんでください!!

みなさんの参加をお待ちしています!

同窓会総会・懇親会

その他詳細は、同封した「開催案内」をご覧ください。

開催日：2019年5月18日(土)

会場：ホテルグランドパレス

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-1-1

TEL 03-3264-1111 (代表)

<総会>14:30~ 3階「白樺」

<懇親会>17:00~ 2階「チェリールーム」

会費：無料



2018年度の総会・懇親会

ホームカミングデー開催報告

講演会

2018年10月27日(土)・28日(日)、第32回駿輝祭が開催されました。27日のホームカミングデーでは、恒例となった同窓会・父母会共催の講演会が開催され、「戦場カメラマン」として有名な渡部陽一氏を講師に迎え、「世界からのメッセージ~希望ある明日のために~」というテーマでご講演いただきました。

当日は、近隣の方や卒業生、在学生、ご父母など、およそ750名の方にご来場いただき、大学で一番大きな640名収容の7405教室は、多くの立ち見の方も含めて超満員となりました。さらに、会場に入りきれなかった方は、講演会の模様を同時中継した隣の7401教室でスクリーンに映し出される渡部陽一氏の様子を熱心に見入っていました。



渡部陽一氏

懇親会

講演会終了後、第二講義棟15階スカイラウンジにて、同窓会主催の懇親会が開催されました。ホームカミングデーも今年で18回目となり、最近はお子さま連れで参加される方も多く、賑やかな雰囲気の中で、懐かしい同窓生や教職員との

懇親を楽しんでいただきました。

会の冒頭では、恒例となった同窓会から駿輝祭実行委員会へ協賛金が贈呈され、駿輝祭実行委員会の吉田良太会長(メディア情報学部4年)からお礼の言葉が述べられました。

また、駿輝祭の当日は、各方面から引っ張りだこで大忙しのマスコットキャラクター「しゅんた」も懇親会に姿を見せ、子供たちとの記念撮影などに応じてくれました。

次回も、多くの卒業生にお越しいただきたいと思っております。お誘い合わせの上、是非母校に遊びに来てください!



協賛金贈呈



懇親会

キッズコーナー

大森一宏 新学長就任

2019年4月1日付にて駿河台大学学長・副学長が次のとおり就任されました。

学長	大森 一宏	経済経営学部教授(前副学長)
副学長	本池 巧	メディア情報学部教授(留任)
副学長	黒田 基樹	法学部教授(留任)
副学長	狐塚 賢一郎	現代文化学部教授(留任)
副学長	朴 昌明	法学部教授(新任)

支部会連絡先

北海道支部会	上見国敏さん(経済学部・95年卒) ☎0154-24-3811
新潟支部会	大平一貴さん(経済学部・95年卒) ☎090-7813-2575 barohhira26@gmail.com
長野支部会	今井翔大さん(法学部・15年卒) nagano.sundai.imai@gmail.com
山梨支部会	塩澤清志さん(法学部・91年卒) dousou@surugadai.ac.jp (同窓会事務局宛)
群馬支部会	桐生 岳さん(法学部・93年卒) ☎090-8840-6123 sundai-gunma@answerwind.com
沖縄支部会	崎原正平さん(法学部・09年卒) ☎080-6491-9979

駿輝祭表彰 同窓会長賞

10月27日(土)、28日(日)の2日間
にわたり、第32回駿輝祭が開催され
ました。駿輝祭における学内展示・ゼ
ミ発表を促進する目的も兼ね、毎年優
れた展示や発表内容に対し「理事長賞」
「学長賞」「同窓会長賞」「奨励賞」の
表彰が行われています。「同窓会長賞」
は、駿輝祭当日に、お越しいただいた
同窓会員の方々に審査(投票)していただ
いた結果により決定しています。今
回の受賞団体は次のとおりです。

賞	団体	展示内容
理事長賞	井上ゼミ (メディア情報学部)	密かにひそむ 空想の生き物展
学長賞	水沼ゼミ (メディア情報学部)	豊かなよみもの展
同窓会長賞	松平ゼミ (法学部)	知的財産法イロハを 一緒に考える
奨励賞	間島ゼミ (メディア情報学部)	“会いたい人に会いに行く” をテーマにしたドキュメン ト映像作品の上映
	映画塾 (映画制作サークル)	自主制作映画の上映



同窓会長賞を受賞した松平ゼミのみなさん

新潟支部会が開催されました

9月9日(日)新潟県長岡市の「ホテルニューオータニ長岡」
において、新潟支部会が開催されました。当日は、14時から
支部会が行われ、大平一貴新潟支部長を初め、役員会から廣
瀬尚副会長・岡部浩一副会長が参加し、佐古年穂教授も加わ
って大学及び同窓会の近況活動が報告されました。また、15
時からは、同じホテルで同時開催されていた父母会との
合同懇親会が催され、学長を始めとする先生方との歓談にも
花が咲き、総勢40名の賑やかな夏の時となりました。



長野支部主催チャリティーイベントが開催されました

2018年9月29日、長野市芸術館において信濃毎日新聞社、母校の後
援を得て、長野県を中心にご活躍中のシンガーソングライター清水ま
なぶさんにご出演いただき「平成30年7月豪雨(西日本豪雨災害)チャ
リティーイベント 清水まなぶチャリティートーク&ライブ」を開催さ
せていただきました。2016年開催の「寺子屋@ながの」と同様に一般
公開とさせていただき、当日は台風が接近中のあいにくの雨の中ではあ
りましたが、会場には70名ほどご来場いただきました。自然災害が多
く発生してしまった2018年、義援金とともに熱いエールを長野から被
災地に送ろうという趣旨のもと、清水まなぶさんの歌と語りで盛り上がり、
清水まなぶさんのCDのチャリティーオークション分も含めご来場
者から合計85,500円の義援金をお預かりしました。義援金は全額を直
接、被害が甚大であった岡山県倉敷市に送金しました。



また当日は、長野県歌「信
濃の国」が制定されてから
50周年の長野県のプロジェ
クトに参加させていただき
形でコーラスリレーの動画
の収録も行われました。長
野支部関係者で「信濃の国」
6番を歌い、それが他の投
稿動画と一本につながれ次



の特設サイトで公開されていますので是非ともご覧ください。

<https://shinanonokuni.com/>

2013年9月14日の同窓会長長野支部発足以来、私が支部長を務めさせ
ていただきましたが、2018年10月1日に支部長を今井翔太さん(法学
部・15年卒)に引き継ぎましたので、この場をお借りしてご報告いたし
ます。長野支部発足前より多くの方々から、ご厚情あふれるご支援、ご
協力を賜り至極恐悦に存じます。本当にありがとうございました。今後
とも同窓会長長野支部をよろしくお願い申し上げます。

ご出演いただいた清水まなぶさんのホームページも是非ご覧ください。

<https://manaboom.net>

(同窓会長長野支部 樋口雄一 法学部・93年卒)

同窓会後援 「卒業生との交流会2018」～社会で活躍する駿大OB・OGとの座談会～

キャリアセンター

本年度も「卒業生との交流会」を春・秋
両学期で開催いたしました。本イベントは
複数の卒業生を大学にお招きし、在学生と交流を深める企画です。同じ
大学の先輩が社会でどのような仕事をし、活躍しているのかを知り、学
生生活をいかに有意義なものにしていくかを考える機会として評判のイ
ベントで、今年で4年目を迎えました。

春学期は7月5日(木)に開催、卒業後3～5年程度の卒業生11名にお
集まりいただきました。警察官、消防官、市役所職員といった公務員の方々
から音楽家、IT系デザイナー、生命保険の営業マン、そして起業家ま
で幅広い分野から個性豊かな卒業生にご参加いただきました。なかでも
芸能事務所でイベント運営に携わる卒業生のブース(教室)は大人気で、
仕事のやりがいに業界裏話など、在学生は興味津々といった様子でした。
当日参加した在学生は3年次生が中心だったこともあり、公務員の卒業
生に対しては筆記試験や面接をいかに突破するかといった実践的な質問
が飛び交っていたようです。卒業生からは「時間が足りなかった!」「自
分が学生の時もこのようなイベントがあればよかった…」といった感想
が寄せられ、充実した時間をお送りいただいたことと思います。

秋学期は11月29日(木)に「卒業生が伝えたい『社会人になる前に必要

なこと』というテーマでパネルディスカッションを開催しました。'94
年に経済学部を卒業された企業経営者、'02年に現代文化学部を卒業され
た就職支援カウンセラー、そして'16年に心理学部を卒業された子供衣料
品販売店の副店長という世代、立場の異なる3名の卒業生をパネリスト
としてお招きし、「学生時代のこと、就職活動のこと、社会に出てからの
こと」を中心に話を伺いました。それぞれの時代背景や環境は異なる



ものの、みなさん様に「学生時代の豊富な行動・経験が後の人生に影響を与える」と力説されていたことが印象的でした。学生からも「恐れずにまずは行動してみたい」「就職活動の参考になる話ばかりだった」という感想が多く、これからの学生生活に向けて勇気をもらったことでしよう。

本年のイベントにご参加いただいた卒業生の皆さまをはじめ、ご後援いただいた本学同窓会に深く御礼申し上げます。今後も学生の進路選択に役立つイベントを企画・運営していきたいと存じますので、引き続きご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

法学部

法学部では、1月9日(水)に、第二講義棟15階ラウンジにて、「法学部全学年女子学生対象 法学部女子会プレゼンツ 卒業生就職報告会」と題する、卒業生と在校生との交流会を開催しました。

報告会には、在学中は「法学部女子会」に所属し、現在は社会で活躍している辻茜さん(2013年3月卒業)と関口美穂さん(2015年3月卒業)の二人のOGをお招きし、在校生からは20人ほどの女子学生が参加しました。「女子会プレゼンツ」ということで、現在の女子会メンバーたちが報告会の実施を精力的にサポートしてくれました。また、同窓会からの支援を得て、OGのお二人に謝礼をお渡しすることができました。同窓会のご支援に心から感謝いたします。

報告会では、参加者が二つのテーブルに分かれ、お菓子や飲み物などの軽食を食べながら、卒業生と在校生が互いに交流を深めました。最初、在校生たちは、初対面の先輩たちとの会話に、ほんの少しだけ緊張した様子でした。それでも、お二人の優しい話しぶりにすぐに和やかな雰囲気になり、ガールストークに花を咲かせていました。

OGのお二人は、合同説明会の活用方法や集団面接での振る舞い方といった就職活動に役立つアドバイスだけでなく、就職後の仕事内容、福利厚生、結婚や出産といった様々なお話をしてくださいました。在校生にとっては有意義な内容ばかりで、全員が真剣な眼差しで先輩たちの話に耳を傾けていました。また、在校生からは、学校生活や将来に対する悩みや不安の相談がありました。OGのお二人は、ひとつずつ真剣に考え、非常に親身になって答えてくださいました。

今回の報告会に参加し、現在女子会の副代表を務める宮下晴美さんは、「就職活動や就職後のお話を聞くことができ、仕事というものに対して今まで以上に明確なイメージを持つことができた」と話しており、貴重なお話を聞かせてくださったお二人に心から感謝していました。



その他の参加者たちにとっても、先輩方の実体験に基づくアドバイスは、非常に意義深いものになったと思います。きっと今回の先輩方のお話を糧にして、将来立派な社会人になってくれることでしょう。

(法学部 助教 林田光弘)

現代文化学部

現代文化学部の学部DAYは必修科目と同様に重要な行事として位置づけています。11月22日(木)に行われた3年次生のプログラムは、145名が参加しました。テーマは「多様化する社会で活躍するために欠かせない能力とは—多様性の理解と実践—」です。昨今は企業が、「ダイバーシティ」を福祉の観点からではなく、経営戦略として重視し始めています。これまでの時代と異なり、国籍・性別(LGBTを含む)・ライフスタイル・働き方などがバラバラな多様な人々とともに働きながら、違うことに価値を見出し、価値を創造していく成熟した社会を志向する時代が来ているのです。このような時代において働くとき、「多様性を理解する能力」が社会人には求められます。

間もなく本格化する就職活動に備え、多様化する社会で活躍するために欠かせない能力について考えるワークショップを前半に行い、後半には講師の宮田祐子先生と2013年卒業の高寺翔太さんをお迎えして、パネルディスカッションをしました。

高寺さんから卒業後、社会の一員としてどのような方々と一緒に働いてきたか、お話を伺いました。外国人、学生、主婦、高齢者、知的障



者など、様々な方々と職場で働いてきたそうです。近年の人手不足に備えるという意味合いもありましたが、従来の雇用傾向と異なった方々を雇用することが違ったモノの見方のできる人を集めることとなり、それが多様なお客様に寄り添うことができ

る方々を雇用することにつながったため、業務にもよい影響を与えることができたそうです。

自分と違う個性・ライフスタイル・事情を抱えている人と働くことに戸惑いも感じただけでも、多様性のある職場で働くために必要だと思うことは、自分の視点からのみ物事を判断して怒ったりせず、みんなの話を聞くことでした。それにより、職場自体がお互いを大事にするように変わっていったと言えます。そうすることで、職場の定着率もよくなり、職場自体も上手く回るようになり、業務にプラスの影響があったとのことでした。熱心に話を聞いていた学生たちからも質問がなされ、後半も盛況のうちに終わりました。

以下、参加した学生から寄せられた感想です。

- ・自分と違う人、障害を持っている人、持っていない人、様々な人がいるため、その多様性を理解していくことが大切だと思った。
- ・自分が持つ見方で行動や考えを出すだけでなく、多種多様にある別の視点も知り受け入れることが大事で、社会で必要になる能力だと理解しました。
- ・他の人の考えを理解していくと自分の思いつかないアイデアも出てきて、他の人の考えを受け入れることは大切だと思いました。
- ・ちゃんと自分から行動して、自分の考えを広げるためにも、たくさんの人と話せるようにしたいと思いました。
- ・卒業生は、第一印象がとても大事と言っていたので、面接や説明会のときは、明るく良い表情をしたいと思います。

(現代文化学部 准教授 小林奈穂美)

心理学部

11月22日(木)の学部Dayにおいて、心理学部は、「学部DAY 心理学部2・3年次生対象企画 先輩・社会人交流会」を開催しました。これは、就職に対してあまりはっきりとしたイメージを持っていない学生、就活や将来の社会人生活に漠然とした不安を抱いている学生に、社会で活躍している方々や内定が決まった4年次生から実体験に基づいた話を聞いてもらうと共にざっくばらんに質問し、話をしてもらうことを通じて、就活並びに社会人生活に向けての「心の準備」を整えてもらおうという企画です。今年度で、4回目になります。昨年度までは3年次生のみを対象としていたのですが、今年度は2年次生も参加できるようにした結果、3年次生は52人、2年次生は11人の計63人が参加してくれました。

交流の相手としては、飯能市在住の黒沢文晴様、若生忠彦様と、同窓生5人(経済学部卒の鈴木俊明様、高倉元明様、現代文化学部卒の長内郁恵様、高木清美様、心理学部卒の速水一優様)の7人の社会人と、6人の4年次生とに協力してもらいました。また、今年度は、大学院に関する話も聞けるように、本学大学院生2人にもフリーセッションに加わってもらいました。そして、今年度も、同窓会の支援のおかげで、社会人、大学院生の皆さんに謝礼をお出しすることができました。ご支援に心より感謝申し上げます。

交流会は、大学会館3階において、13時30分から始まりました。まず、企画担当の杉本英晴講師が就活・就業に関する総括的な講義を行い、その後、2・3年次生には、予め指定した12グループに分かれて、社会人2回、4年生1回の交流をしてもらい(20分3回)、最後にフリーセッションを15分で2回設けました。

最初は緊張もあって活発さに欠けるのが常なのですが、今年度は比較的うまくスタートダッシュができたようで、2・3年次生も最初から熱心に話をしていました。そして、その熱は最後まで維持されていたように感じました。社会人からは、働くとはどういうことか、働く心構えといった話に加えて、どんな学生を採用するか、どんな社員が評価されるかなど、4年次生からは、就活のテクニックや実際の面接内容など、体験に基づいた具体的なお話に熱心に耳を傾け、質問するなど、少しでも自分のためになるものを学び取ろうと頑張っている2・3年次生の姿を見られたのは嬉しい限りです。もちろん理想からすれば、もっともっと活発な交流があっていいとは思いますが、現段階では上々の出来だろうと思います。

参加した2・3年次生には交流内容を用紙に記入してもらい、交流会後に回収しましたが、その内容からは、新たな気づきなど、それぞれ多くのものを得てくれたようですし、就活、そして、将来に向けての心構えを築きかけを得てくれたようです。なお、この用紙は、ゼミの担当教員に内容を確認いただいた上で、本人に返却し、交流会の振り返り、ゼミでの就活指導にも活用してもらっています。

(心理学部 教授 佐古年穂)



同窓会事務局より

【重要】同窓会本部では、卒業生の「人材バンク」機能を構築していくことに取り組んでいます。現役学生に対する講座の講師役や就職座談会などへの支援をお願いする際に活用していきたいと考えています。後日、同窓会本部や大学関係者より事前に「人材バンク」への登録可否を何う連絡が入る場合がございますので、予めご承知いただくとともに登録にご理解ご協力のほどお願いいたします。

卒業記念品を贈呈しました

2017年度卒業生から大学への卒業記念として、集会用テント5セット及び簡易テント2セットが贈呈されました。主に駿輝祭の際に使用するこれらのテントは、数が不足しており、毎年、駿輝祭実行委員が近隣の学校や自治会などから借用しています。今回、同窓会から贈呈していただいたことにより、借用数も減り、その労力も大幅に軽減されることとなりました。駿輝祭では、年月を感じさせる色褪せたテントが多い中、大きく「駿河台大学同窓会」の文字が描かれた真新しいテントは、ひときわ白く輝いていました。



ゴルフ部OBコンペを開催

平成30年11月18日(日)に、栃木県のサンヒルズカントリークラブにて、第41回ゴルフ部OBコンペを開催致しました。向寒の肌寒い気候ではありましたが晴天に恵まれ、卒業生8名、そこに現役生5名とゴルフ部顧問の松平先生にも参加をしていただき、合計14名にて相互の懇親を深めることができました。

現在、ゴルフ部OB会には約90名の卒業生がおります。卒業生相互の懇親を目的に年2回(春・秋)のゴルフコンペを開催し、さらに現役ゴルフ部員の有志にも参加をしてもらう事で交流を深めております。



仕事の都合や現住所の関係で参加ができない卒業生も多くありますが、今後もゴルフ部のOB・OGに声をかけ、継続的に開催を行いたいと思いますので、関係者の皆様には引き続きご理解とご協力をいただければ幸いです。(吉田将卓 法学部・98年卒)

卒業生子女への学費支援

同窓会では、本学卒業生への還元の一環として、卒業生の子女が母校(駿河台大学)へ入学する場合に、入学金免除制度(大学制度)に加え、同窓会から「初年度授業料の半額」を給付しています。給付型奨学金ですので、返還の義務はありません。

制度の概要は以下のとおりです。

(1)支給要件：以下全ての要件を満たす場合に支給対象とします。

- ① 本学同窓会員の子女であること。
- ② 駿河台大学が設置する学部新たに入学する子女であること。
ただし、編入学及び再入学の場合は当制度の対象としない。
- ③ 本学同窓会員が保証人であり、同窓会員又はその配偶者が当該子女を扶養していること。

(2)給付額：367,500円(入学時初年度授業料の半額)

※入学した初年度に限り給付するもので、継続はありません。

※特別奨学生制度などにより初年度授業料が免除されている場合は対象となりません。

(3)手続方法：保証人である同窓会員が申請書に必要事項を記入の上、添付書類を添えて同窓会事務局(学生支援課内)に郵送してください。

(4)提出期間・振込予定日

提出期間：2019年4月1日(月)～2019年4月26日(金)

振込予定日：5月末日

※ただし、学費等月額納付制度を利用される場合は、振込予定日が別途対応になります。

申請書類等、詳細は同窓会ホームページをご覧ください。

退職教員のお知らせ

このたび3月末日をもってご退職された先生方をお知らせします。長い間大変お世話になりました。

- 法学部 吉田 恒雄 学長
- 経済経営学部 市川 哲郎 教授
- 法学部 大沼 洋一 教授
- 経済経営学部 南林 さえ子 教授
- 法学部 織田 博子 教授
- メディア情報学部 瀬戸 純一 教授

2018年度 答辞・総代・各賞受賞者

去る3月18日(月)に2018年度「学位記授与式」が執り行われました。

答辞

現代文化学部現代文化学科

高橋 利紀 東海大学菅生高校出身

総代

法学部法律学科

橋本 泰孝 福島県立平工業高校出身

経済経営学部経済経営学科

山田 泰隆 大成高校出身

メディア情報学部メディア情報学科

杉 ひかり 船橋市立船橋高校出身

現代文化学部現代文化学科

福田 飛来 東京都立昭和高校出身

心理学部心理学科

須川 瑠香 群馬県立桐生南高校出身

優秀賞

法学部法律学科

平出 圭亮 駿台甲府高校出身

経済経営学部経済経営学科

赤名 玲衣 埼玉県立久喜高校出身

メディア情報学部メディア情報学科

小峰 綾乃 埼玉県立所沢高校出身

現代文化学部現代文化学科

棚橋 俊輝 富山第一高校出身

心理学部心理学科

山本 千尋 埼玉県立所沢西高校出身

菩提樹賞

法学部法律学科

小西 風生 聖望学園高校出身

小峰 良太 東京都立羽村高校出身

佐藤 善久 埼玉県立所沢高校出身

佐山 奈央子 青森県立弘前南高校出身

鈴木 康平 本庄第一高校出身

塚原 裕貴 駿台甲府高校出身

常山 樹生 新潟県立柏崎総合高校出身

松本 聖華 埼玉県立坂戸西高校出身

経済経営学部経済経営学科

齋藤 博昭 堀越高校出身

佐平 晴矢 沖縄県立宮古高校出身

高橋 円香 秋田県立羽後高校出身

種田 拓真 流通経済大学付属柏高校出身

成田 浩平 新潟県立小出高校出身

村田 龍哉 昭和一学園高校出身

柳谷 光彩 山村国際高校出身

メディア情報学部メディア情報学科

岩本 英士 東京工業高等専門学校出身

清水 勇 埼玉県立所沢中央高校出身

鈴木 美紅 長野県須坂東高校出身

仁平 賢斗 秋田県立本荘高校出身

馬場 英明 埼玉県立坂戸西高校出身

現代文化学部現代文化学科

新井 英里 八王子実践高校出身

石ヶ森 翔一 埼玉県立日高高校出身

YU LAN 留学生・中国

桑原 悠輔 つくば秀英高校出身

引間 永実子 埼玉県立松山女子高校出身

村上 ちはる 白梅学園高校出身

心理学部心理学科

遠藤 博正 屋久島おおぞら高校出身

小野塚 紗月 新潟県立加茂高校出身

飛田 暁 茨城県立那珂高校出身

本多 桃子 加茂暁星高校出身

本田 祐人 日々輝学園高校出身

特別賞

法学部法律学科

小西 風生 聖望学園高校出身

松本 聖華 埼玉県立坂戸西高校出身

良知 なつ美 静岡県立浜松工業高校出身

臼井 将洋 埼玉県立飯能高校出身

大塚 未理 長野県望月高校出身

黒澤 佑里香 埼玉県立秩父高校出身

経済経営学部経済経営学科

富田 亘 東野高校出身

SUN HUI 留学生・中国

加藤 雅之 山村国際高校出身

村田 龍哉 昭和一学園高校出身

柳谷 光彩 山村国際高校出身

メディア情報学部メディア情報学科

屋宜 孝志 沖縄県立南風原高校出身

鬼塚 ことみ 秋草学園高校出身

現代文化学部現代文化学科

工藤 大晟 秋田県立大館国際情報学院高校出身

近野 夏葵 山形県立米沢商業高校出身

庄司 貴紀 東京学館高校出身

鈴木 歩実佳 栃木県立今市高校出身

西沢 晃佑 長野県立日本大学高校出身

松本 ひかる 埼玉県立飯能高校出身

宮本 愛永 福岡県立玄界高校出身

村上 ちはる 白梅学園高校出身

吉田 慶次郎 埼玉県立飯能南高校出身

渡邊 ひかる 富士市立高校出身

心理学部心理学科

酒井 佑季 東京都立拝島高校出身

武島 柚樹 埼玉県立狭山緑陽高校出身

長岡 琴弥 埼玉県立小川高校出身